



卓 話



「波乱万丈のビジネスは楽し」

副会長 曾我 祐二郎会員

私の両親は佐渡おけさで有名な佐渡出身で戦前は渋谷の下通り（代官山）に住んでいました。次第に戦争が激しくなったので故郷の佐渡に家族で疎開をいたしました。



私は終戦後の1946年3月19日に佐渡の真野町で明治生まれの父48歳、母38歳の5人兄弟の末子として生まれました。4歳の時に佐渡から仕事の関係で父が単身で住んでいた東京に母と兄弟5人で引っ越し、世田谷弦巻に住居を構え再び家族全員で生活するようになりました。

小学、中学、高校と両親のおかげで苦労することも無く、のんびりと幸せに過ごすことができました。大学受験で人生初めての挫折を味わい、1年間浪人生活をし、1965年に再度大学受験にチャレンジし、なんとか大学に入ることができました。

2年間の日吉のキャンパスの居心地がよかった為に4年間の長居をしてしまい、6年間の楽しい大学生活を送りました。

大学生活に別れを告げ1971年にエスエス製薬に入社し、営業に配属されました。最年長の新入社員であることを強く自覚していた事と、同年の11月に結婚して責任感がより増したのか、営業成績は常にトップクラスで成績優秀社員としてよく表彰を受けました。

しかし医薬品を売り歩くのに厭きてしまい2年で退社し、将来の起業家を目指しコンピュータ業界のソフト開発会社に転職しました。

ソフト会社で4年間経験、修行を積み、1977年に7名の若手の技術者を連れて独立し、株式会社ネスコを立ち上げました。

当時ソフト会社の世間の認知度は低く、設立初期は苦勞致しましたが、世の中のITの普及にともない比較的順調に業績を伸ばすことができました。

1978年に青年会議所に入会し、8年間の積極的な活動で異業種交流を経験してヒューマンネットワークを拡充でき、小企業ではできなかった様々な体験をした事等が会社経営に大いに役立ちました。

1990年代の前半に成長しか考えなかった弊社にバブルの波が押し寄せて来てそして弾け、「天国から地獄」への、お金では買えない貴重な体験も致しました。ネスコクライシスを乗り切る為に、大リスクを始めとしてコスト削減のあらゆる自助努力をして危機を乗り越えました。

1996年以降は、インターネットが爆発的に普及すると同時に企業のIT化の強い風が吹きだし、ネットワーク時代の到来という、時代の変化による社会のIT投資ニーズがでてきた事で、デフレ社会の不景気の波を乗り越えてきました。

今は、オンリーワンビジネスの確立を全社のスローガンにし、国際会計基準準拠の統合会計パッケージソフト「Super Stream/400シリーズ」の拡販に全精力を挙げているところです。

次年度は当クラブの会長として若輩ながら精一杯努力致しますので、皆様方のご支援を心よりお願い申し上げます。